

佐賀市立城北中学校 横尾 亮秀 先生

今回は、定期試験等でデジタル採点ソフト『採点ナビ』をご活用いただいている
佐賀市立城北中学校の横尾亮秀先生にお話を伺いました。

インタビュー日 2025年4月16日

もっと良い機能のソフトウェアがあるのではないかと調べたところ、『採点ナビ』を見つけました。

——まずは自己紹介からお願いいたします。

中学校の社会科を担当しております。佐賀県内の多久市立中央中学校で3年、佐賀大学教育学部附属中学校に3年、城西中学校に8年、現在の城北中学校に2年目となり、合計して16年目になります。

——横尾先生とは前任校の城西中学校からのお付き合いになりますが、それ以前よりデジタル採点システムについてはご存じでしたでしょうか？

はい。一番最初は城西中学校にいたときに、教頭先生から無料の採点ソフトを紹介していただいて、採点が早くなるのを実感していました。ただ、昔のソフトウェアだったため、「今だったらもっと良い機能のソフトウェアがあるのではないかと調べたところ、『採点ナビ』を見つけました。

『採点ナビ』はクラウド版だけでなく、PC端末内で採点ができるインストール版があることが一つの決め手となりました。クラウドの場合、ネットへの流出を懸念して、学校などが許可しない可能性があるかと思い、インストール型のソフトウェアを探していたところでした。

無料お試しの使用期限が近くなると「来年これ使えないんですかね？使えないと困ります…」という声が出ていました。

——『採点ナビ』についてご検討いただく中で、最初はお試し版をご利用いただいたかと思います。

他の先生の抵抗感などはございましたでしょうか？

やはりPC自体の操作に不慣れな先生だったりすると、手で丸を付けた方が早いのではないか、という感覚があり、「設定が大変ではないのか」とか、「新しいシステムを勉強するのが大変」という声もありました。ですが、やってみたら早かった、ということもありました。

無料お試しをしていた先生から、使用期限が近くなると「来年これ使えないんですかね？使えないと困ります……」という声が出ていました。

——お試しの段階で、学内ではどれくらいの人数がご利用されましたでしょうか？

感覚的には4割くらいの人数が使用していたかなと思います。今年度は、すべての先生のPCにインストールするように準備しています。

得点率の低かった10問をもう一度生徒に解かせていて、とてもいい勉強法になる、役立っているなと思っています。

- 解答欄の枠はAIが自動認識
- 観点別得点の自動集計
- 生徒答案上でも観点別に色分け
- 得点率のトップ10、ワースト10の確認
- 標準偏差、得点の分布表

…etc.

——『採点ナビ』を使ってみて良かった点はありますか？

沢山あると思いますが、すぐに思いつくのは最初に設定する解答欄の枠設定です。

AIが自動で枠認識をしてくれるので、設定がスムーズにできるというのが良いです。

あとは観点別得点の自動集計や、生徒答案上でも観点別に色分けしてくれること、細かい部分では丸の位置がずれたりしないところもあります。生徒の解答が一覧で見えるので、記述問題を採点する時にもブレが少なくなったなとも思いますね。

社会テスト

氏名 教育 太郎

13 15 28

1 (1) 日本の面積に最も近いものを選びなさい。
ア. 約18万km² イ. 約25万km² ウ. 約38万km² エ. 約50万km²
(2) 日本の中で、降水量が最も多い地域はどこか？
ア. 瀬戸内地方 イ. 北海道 ウ. 太平洋側 エ. 中央高地
(3) 日本で火山が多い理由を、次の語句を使って説明せよ。【プレート・火山帯・沈み込み】
(4) リアス海岸が特徴的な都道府県を2つ選びなさい。
ア. 岩手県 イ. 三重県 ウ. 高知県 エ. 熊本県 オ. 沖縄県

(1) エ (2) ウ

(3) プレートの沈み込みが原因でマグマが
発生し、火山帯が発達したから。 (横線はいい！)

(4) ア ウ 13

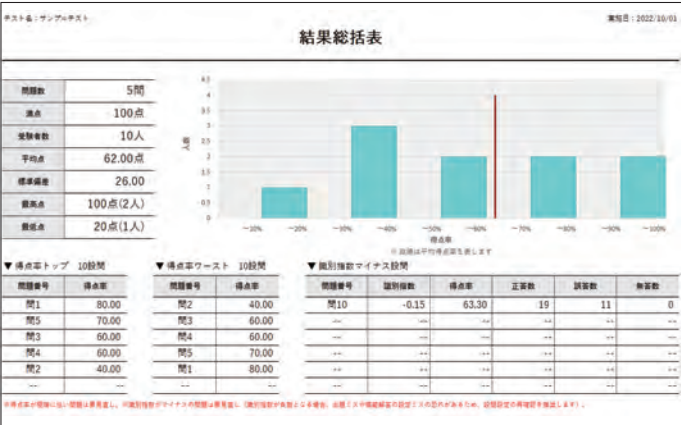
2 (1) 平安時代に、貴族の邸宅や寺院で用いられた日本独自の建築様式を何と呼ぶか。
また、その様式の特徴を説明しなさい。
(2) 平安時代中期、藤原氏が政治の実権を握った。藤原氏の全盛期を築いた人物は誰か。
また、その人物が没年になった年号を西暦で答えなさい。

発展途

(1) 広い空間を重視した建築で、建物と庭園が
一体となっている点が特徴である。
右側と特徴をあげていてGood!
他の時代の建築物と比較した時や
建築物の配置に絡れているとより良いです！

(2) 人物 藤原 道長 年号 997 15

採点結果の分析というところ来说うと、よく活用させてもらっているのが「結果総括表」になります。得点率のトップ10・ワースト10や、標準偏差・得点の分布表が有難いと思っています。テストが終わった後、得点率の低かった10問をもう一度生徒に解かせていて、とてもいい勉強法になる、役立っているなどと思っています。



結果総括表の例

「主体的な学びを通じて、ばらつきをどれだけ減らせたか」を測る一つの指標として活用できるのではないかと考えています。

ありがとうございます。『採点ナビ』は採点時間の短縮や負担軽減といった、教員のためのシステムという認識もありますが、生徒様へ向けた教育のためのお役にも立てているのですね。

そうですね、そういう学習効果があるというところは、広く紹介したい部分です。あとは、標準偏差も確認しています。標準偏差というのは、簡単に言うと得点の「ばらつき」を示す数値ですね。得点が高い子と低い子、その差がどれくらいあるかを表しています。本校ではいろいろな場面で「学び合い」を取り入れていて、わかっている子がわからない子に教えるという、子どもたち自身による主体的な学びを続けることで、その差が少しずつ縮まっていくんです。ですから、標準偏差を継続的に出していけば、たとえば校内研究などで「主体的な学びを通じてばらつきをどれだけ減らせたか」を測る一つの指標として活用できるのではないかと考えています。

採点時間の体感としては半分以上、3分の1ぐらいに減っているのでは。

今回、『採点ナビ』をご利用いただいたことで、働き方改革の部分では、どれくらい負担軽減の成果が上げられておりますでしょうか？

テスト問題にも影響はされますが、2クラスぐらいであれば1時間以内で丸付けができるようになりました。今までの手採点だったら丸付けするのも時間がかかっていて、2クラスだったら3時間とか4時間ぐらいかかっていたと思います。体感としては50%、いや、半分以上じゃないですかね。3分の1ぐらいに減っているのではないかと思います。『採点ナビ』はクラス数が多ければ多いほど、もっとクラス数に比例して採点の効率化がより図れると思うんですよね。学年全体を採点するような先生ほど使った方がいいかなって私は思っています。

あとは今後、使ってみたい機能などはございますでしょうか？

出版社が作っている単元テストの広告に、『採点ナビ』と連携しているという内容を見ました。以前から単元テストは採用していましたが、なかなか採点時間が取れず、授業中に生徒同士で採点させていました。なので、正式なテストとして扱うわけにはいかない状況でした。そこが『採点ナビ』で採点できるということであれば、それを十分に単元テストとして活用して、評価に加えることができると思います。広告には枠の設定などの事前準備も不要になると書いてあったので、ぜひ早く活用してみたいと思います。

ありがとうございます。『採点ナビ』と連携している出版社教材であれば、設定が省略できるので、さらなる効率化に繋がれば幸いです。

この間他校に出張で行った時、既に定期テストの代わりに単元テストを行っていると聞きました。単元テストとなると、テストの回数が必然的に多くなりますので、採点に割く時間がかなり取られてしまったら困ります。なので、採点を効率化する採点ソフトは必須だとお話をしていました。単元テストを実施するようになったら、その分定期テストに充てていた午後に授業ができるようになったので、週に2日も5時間授業の日ができて、そして生徒と向き合える時間が増えたと言っていました。

全国的にも、定期テストを廃止し単元テストに移行していく学校が徐々に増えてきているとお伺いしております。実施回数が多い単元テストでも、『採点ナビ』がお役に立てればと思います。最後になりますが、今後の『採点ナビ』に対してのご要望をお伺いできればと思います。

現在の生成AIであればできるかもしれませんが、生徒の記述内容が似ているものをジャンルで分けるとかそのグループで分けていくことが可能であれば、記述の問題さえも採点するのが効率化できるんじゃないかなと思っています。

ありがとうございます。実は先行して『採点ナビクラウド』に、生成AIを活用した採点機能が搭載されました。こちらは模範解答・教員の採点基準を登録することで、ある程度の単語・文章の採点をできるようになっておりますので、クラウド版もご検討いただけますと幸いです。改めまして、本日はお忙しい中ありがとうございました。



城北中学校「北辰」の石碑